

## 岐阜県森林づくり基本計画に基づく施策の実施状況報告書(案) 意見と対応

## 平成 23 年度第 1 回木の国・山の国県民会議

意見発言者	意見内容	意見への対応	担当課
鈴木委員長	全般的には確かに伸び悩んでいるが、今後県産材の利用機運が高まっているであろうということから察すると、どの地域で減っていてどの地域で増えているのか、あるいは大手ハウスメーカーとの取り引きが減っているのか増えているのか、このあたりをもう少し細かな県産材の受注動向とか利用者の声というものを紹介していただけるならお願いしたい。	P81～85(概要版はP9～10)実施状況一覧のなかで、「ぎふの木で家づくり支援事業応募数」を記載しました。	県産材流通課
山田委員	健全で豊かな森林づくりの推進のところで利用間伐について話があり、2割くらいしか利用率がないと言われていたが、どういうふうになってきたのか、増えているからいいとか増えてないから今後は利用間伐に力を入れていくとか、数字を持っているなら付け加えたほうがいいと思う。	P15 課題-1に、「しかし、平成22年度の利用間伐の割合は約20%で、前年度からは1%の微増にとどまっているため、「保育間伐」からの転換をさらに進める必要があります。」を追加しました。  P81～85(概要版はP9～10)実施状況一覧のなかで、「間伐材利用量」を記載しました。	森林整備課
清水委員	人づくり及び仕組みづくりの表-6評価のところ、(県の森林面積の)94%をカバーしているが位置づけがはっきりせずと書いてあるが、もう少し詳しくこの森林管理委員会ではこういうことを話合っているとかこういう成果が上がっているというものがあれば、そういうものを書いてもらえると100%により近づくのではないかと思います。どういう活動をされているのか知りたいという思いがあるので、書いていただけると良い。	P56 課題-1に、「市町村森林管理委員会」の活動が、活発な委員会とそうでない委員会との格差が生じています」を追加しました。  概要版P4評価をより詳細に記載しました「森林づくり基本計画の策定など独自の取組みもみられますが、組織の位置づけがはっきりしないため、年に1度も開催されないなど活動が停滞している委員会もあります。」  なお、主な活動状況については、P54,55に記載しており、概要版はスペースの関係で省略しています。	森林整備課
篠田委員	県民に広く報告するための実施状況報告書と理解している。概要版は別として、本体版に数値情報をまとめて示していただくとよい。概要版には圏域毎の数値がまとめられているが、これを一覧表にしていたら圏域毎に、森林面積、森林率、間伐実施面積、対前年度比というものを並べていただくと同時に、間伐に関しては森林の面積ではなく人工林の面積というものが示されてそれに対して間伐がどれだけ実施されたか、というような数値の並べ方が必要に思う。それから、林道・作業道の開設、ha当たりの開設も併せて列記していただくとか、更には、森林の施策プランナーの養成数、林業従事者数、素材生産量、市町村森林管理委員会の設置数と活動状況、何回開催されたとかいろんな項目が各圏域毎にまとめられると思う。一覧表にすればどの圏域で進んでいてどの圏域で遅れているのか、その原因は何なのかということ議論する際の非常に重要な資料になり得るのではないかと思いますという気がする。圏域毎に特徴があるはずなので、その特徴をつかみだしながらそれぞれの圏域の皆さんに頑張ってくださいという投げ所にもなるのではないかと思います。一目で岐阜県全体の圏域毎の特徴がわかるような表をまとめていただけると良い。	「IV 地域毎の実施状況」に実施状況一覧(P81～85)を作成しました。※概要版はP9～10	部内各課

